JA全農ぐんま

全農 ZEN-NOH
食と農を未来へつなぐ。

県本部通信 Monthly Zen-noh Gunma

11
2026 November
No.294

This month's photo 花木流通センター　ボサ菊



Contents

事業のうごき
JAピックアップ！
インフォメーション
アートクッキング
農業チャレンジャー
花木流通センター便り

ZENNOH_GUNMA
JA全農ぐんま
公式インスタグラム
情報発信中!
ぜひご覧ください

農とあゆむプロジェクト
私たち全農グループは、生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
■ 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
■ 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
■ 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA全農ぐんま
https://www.zennoh.or.jp/gm/

事業のうごき

畜産農産部

◆酪農畜産課

○生乳の計画生産の推進
○初妊牛導入推進
○子牛渋川市場出荷推進
○素牛導入推進
○種豚導入推進

◆米麦特産課

○令和８年産大豆集荷推進
○令和９年産民間流通麦播種前契約面積作付推進
○令和８年産米集荷推進
○こんにゃく生玉集荷・販売推進
（取扱期間10月20日～12月11日）
○こんにゃく製品セット冬期特別推進（11月～12月）

園芸部

◆園芸販売課

○共計ほうれん草販売（周年）
○共計味にら販売（周年）
○共計干大根販売（12月中旬迄）
○県統一規格共計きゅうり抑制販売（12月末日迄）
○共計下仁田ねぎ販売（1月末日迄）
○共計上州ねぎ販売（2月末日迄）
○共計春菊販売（2月末日迄）
○共計土ねぎ販売（3月中旬迄）

◆園芸総合対策課

○ＪＡ野菜振興計画の目標達成に向けた取組支援
○農産物の安全・安心確保対策
○ＧＡＰ取組支援
○園芸事業基盤強化に向けた取組

◆園芸資材課

○冬用野菜出荷資材予約・当用推進
（段ボール・パック・フィルム・果実用資材他）
○温床資材予約推進
（農ポリ・トンネル資材・カーテン資材・こんにゃくマルチ他）
○春まき用野菜種子推進（ほうれん草・ねぎ・きゅうり他）
○種馬鈴薯予約注文とりまとめ

生産資材部

◆肥料農薬課

○セルフブレンド推進
○麦農薬当用推進
○園芸肥料農薬推進
○茎葉処理除草剤大型規格推進
○バンカーシート推進

◆担い手推進課

○大規模・系統未低利用生産者への推進支援
○ＪＡの出向く体制強化支援

生活燃料部

◆生活課

○蓄電池推進（周年）
○シロアリ防除事業推進（周年）
○ＪＡタウン取扱品目拡大
○WEB受発注システム各JA導入推進
○ペット火葬推進（周年）
○墓石事業取扱拡大推進（周年）
○アクロ技研外壁塗装推進
○もみ切りうどん推進
○ＬＥＤ化推進
○山印味噌キャンペーン
○鳥獣害推進（アサンテ）

◆石油課

○秋期タイヤキャンペーン（10月～12月）

◆ガス電力課

○ガス器具推進（4月～12月）
○ＪＡでんき新規ご契約プレゼントキャンペーン（5月～12月）
○秋の厨房機器推進（10月1日～1月8日）

本所 施設農住部 群馬施設農住事務所

○賃貸アパート・個人住宅推進（周年）
○カクイチ物置・広スペースハウス推進（周年）
○住友不動産ハウジング㈱「新築そっくりさん」推進（周年）

第43回群馬県ぶどう品評会



9月3日（木）、群馬県庁で「第43回群馬県ぶどう品評会」が開催されました。この品評会は、群馬県園芸協会主催で群馬県や当県本部などが後援し、県内産ぶどうのPRと品質向上を目的として開催しています。会場には生産者が丹精込めて生産した品質の良い藤稔やシャインマスカット、クイーンニーナなど色とりどりの品種が47点出品され、審査員が形状や色沢などの審査を行い、特別賞が選ばれました。

危険物取扱者乙種第4類講習会



9月9日（水）、石油課はJAビルで危険物取扱者乙種第4類試験に向けた事前講習会を開催し、JA-SS担当者など7人の受験予定者が参加しました。講習会では、石油課の星野担当が講師となり、危険物の性質や法令、合格するためのポイント、過去問題の解説等についての講義が行われました。参加者は本試験に向けて、真剣な表情で熱心に取り組み、万全の態勢で10月の本試験に臨みました。

令和８年度TAC及び営農・経済渉外担当者出向く活動強化研修会



9月8日（火）、担い手推進課はJAビルで「TAC及び営農・経済渉外担当者出向く活動強化研修会」を開催しました。研修会は「出向く活動の強化」をテーマに、担い手農家とのコミュニケーションにおけるマインド、ナレッジ、スキルの3編に分けて実施しました。講師は人材育成研修に参加しているJA前橋市の井上和稀氏が務めたことで、現場実態を交えた講義となり、より一層理解が深まりました。参加者からは「相手のタイプに合わせたコミュニケーション方法が分かった」などの声が寄せられました。

生活食品商談会



9月11日（金）、生活課はJAビルで「生活食品商談会」を開催し、県内JA直売所担当者や仕入れ担当者らが来場しました。この商談会は、生活組織購買事業の強化への取り組みとして、エーコープマーク品を中心としたオリジナル商品の紹介を行うとともに、新規商品を提案することで、生活事業の拡大を図ることを目的としています。会場には、麺類やお茶、調味料などのブースが並び、各食品メーカーの担当者がJA担当者に対面で商品説明を行い、商品についての理解を深め、より一層の取り扱い拡大が図られました。

令和８年度群馬県 こんにゃく現地研究大会



9月11日（金）、群馬県と群馬県こんにゃく研究会は、こんにゃく栽培技術の向上と生産振興を目的に「令和8年度群馬県こんにゃく現地研究大会」を昭和村で開催し、生産者や関係者らが一堂に会しました。会場では「こんにゃくの可能性を拡げる～ミツカンの新たな挑戦」と題した㈱Mizkan担当者による基調講演や、「コンニャク栽培におけるクロルピクリン代替薬剤使用時のキレート鉄施用による減収対策」と題した群馬県のこんにゃく特産研究センター担当者による事例発表が行われました。大会後には、沼田市と昭和村、川場村での圃場視察が行われ、生育状況の確認や栽培管理の意見交換を行いました。

令和８年度園芸販売初任者研修会



9月17日（木）、園芸販売課は東京シティ青果㈱で「令和8年度園芸販売初任者研修会」を開催し、県内JAの園芸販売部門初任者ら42人が出席しました。午前は園芸販売課職員らが講師となり青果物流通の概要や共計販売やGルートなどの当県本部の取り組みを説明しました。午後は東京シティ青果㈱の担当者が会社での取り組みを説明し、施設視察も行われ、参加者は青果物販売事業に関する知識を習得しました。

夏秋キャベツ県協議会



9月15日（火）、園芸販売課は吾妻合同庁舎で「夏秋キャベツ県協議会」中間会議が開催され、JA担当者や群馬県、当県本部担当者ら10人が出席しました。同課國松担当より市場情勢および他産地情勢について、坂本担当からは令和8年度供給計画と9月出荷計画見通しについての説明が行われました。開催日現在、曇天や降雨が続いている影響で、生産環境は厳しい状況で、群馬県、北部3JA（嬬恋村、あがつま、利根沼田）、当県本部で協議し、生産者のために連携し対応していくことが呼びかけられました。



「あさひの夢」は、さっぱりとした味わいと程よい粒感が特徴の美味しいお米です。もっちりとしたお米とは異なり、粘り気が強すぎず軽やかな口当たり！だからこそ、和・洋・中どんなおかずの味も邪魔をせず、主役を見事に引き立ててくれます！毎日のご飯としてはもちろん、ルーが絡みやすいカレーや丼もの、パラっと仕上げたいチャーハンとの相性も抜群です！ さらに冷めても硬くなりにくく美味しさが長持ちするためおにぎりやお弁当にも大活躍！



おいしい日本と暮らそう
JAタウン
www.ja-town.com

アクセスはこちら！
https://www.ja-town.com/shop/c/c3201



第４回ぐんま野菜ぃ～ね！フェス！



JA全農ぐんまは下記のとおり出展します。
是非、お越しください。

○園芸販売課	ぐんまルシェ クイズラリー
○米麦特産課	手作りこんにゃく体験教室





農業チャレンジャー

農チャレ



県内唯一のうずら農家
全国出荷量の50%を目指す
JAたかさき管内 串田 雄俊 さん

1給餌調整をする串田さん
2出荷を待つうずらの卵
3ほぼ毎日産卵するうずらたち





＼ Profile ／

串田 雄俊（くしだ たけとし）さん
1992年生まれ34歳
群馬県農協青年部協議会副委員長・有限会社高崎クエイル常務取締役を務める
飼養頭数：うずら 約65万羽
趣 味：3人の子供たちと遊ぶ。

―今回の農業チャレンジャーは、ＪＡたかさき管内で養鶉業を営む串田さんです。

―就農のきっかけは?

父が経営する養鶉場で幼い頃から遊び、手伝いをすることもあったため、自然な流れで就農を決意しました。岩手県の食品工場で研修を受けた後、その企業の韓国事業の立ち上げにも携わり、23歳で家業を継ぎました。

―就農されていかがでしたか?

無駄をなくして効率的に行えば、成長できる産業だと感じました。

―何人で作業されていますか?

高崎・赤城・倉渕の3農場とパックセンターを運営し、42人の従業員が働いています。

―どれくらい飼養されていますか?

11棟の鶉舎で約65万羽を飼養し、1日約40万個の卵を生産しています。現在、新たな鶉舎を建設中で、近く70万羽体制となる予定です。

―1日のスケジュールを教えてください。

朝8時から各農場で朝礼を行い、採卵や計量作業、各農場の卵の回収、出荷業務を行います。毎週木曜日はZoomを活用し、全農場をつないで全体朝礼を実施しています。

―心掛けていることは?

鶉は体が小さいため、わずかな環境の変化でも産卵に影響が出ます。そのため、自動給餌機などの設備トラブルには迅速に対応することを常に心掛けています。

―工夫していることは?

近隣が住宅地の農場もあることから、臭気対策をしています。発酵飼料を活用して鶉の腸内環境を整えることで、臭いの軽減と鶉の健康維持にもつながっています。

―やりがいを感じるときは?

農場では孵化から採卵までの一貫生産を行っており、毎週約2万羽のヒナが誕生しています。ヒナが成長し、元気に卵を産むようになる姿を見ることにやりがいを感じています。

―今後の展望をお聞かせください。

今年12月に父親から社長職を引き継ぐ予定です。県内では唯一の養鶉業者であり、全国でも23事業者しかない中で、現在は全国出荷量の約20%を担っています。今後は飼養羽数を140万羽規模まで拡大し、全国出荷量の約50%を担うことを目標に頑張りたいと思います。

―社長就任を控え、規模拡大に挑戦する串田さんに、今後さらなる活躍が期待されます。

JAピックアップ！
～JAの活動をご紹介～

農業現場の思いを肌で実感 農中新人職員が研修

ＪＡ佐波伊勢崎



▲エダマメの選果方法を教わる新入職員

JA佐波伊勢崎は7月27日から8月7日までの10日間、JA現地研修として農林中央金庫の新入職員2人を受け入れました。職員は、管内の農業法人の下で現場研修やJAの金融、営農販売業務を体験し、農業やJAの総合事業について学びました。研修を受け入れた農業法人の長沼農園では露地ナスの収穫や袋詰め、エダマメの選果作業などを行いました。職員は、農作物が収穫されるまでに必要な栽培管理や収穫後の工程を経験し、多くの農作業を経て生産されていることを学びました。同農園の長沼芳憲さんは「現場の思いや苦労など感じた経験を業務に生かして、生産者に寄り添える職員になってほしい」と期待を寄せました。金融事業部では、投資信託の顧客やローン利用者へのアフターフォローを実施して信頼関係を築くことで、地域密着型の対応ができることを学びました。また、営農販売事業部の「ファーマーズマーケットからか～ぜ」では、野菜の品出しや店内広告（POP）、売り場作りを行い「なす・きゅうり選果場」でナスの袋詰めなどを経験しました。最終日には10日間の研修を役員らに報告しました。職員は「研修を通してJAが生産者と消費者をつなぎ、生産者と市場をつなぐ役割を担っていることを学びました。この経験を生かして、貢献できる職員になりたい」と話しました。

ＪＡにったみどり



▲展示品を見て回る来場者ら

第６２回桐生市ぶどう展示会

桐生市とJAにったみどりは8月26日、美喜仁桐生文化会館第1会議研修室で、第62回桐生市ぶどう展示会を開きました。桐生・みどり地域の栽培農家が育てたブドウ「シャインマスカット」や「藤稔」「ナガノパープル」など25種86点が出品され、最高賞の市長賞には津久井ぶどう園の「シャインマスカット」が選ばれました。

市と同JAがブドウの収穫時期に合わせ、毎年この時期に開催する人気のイベント。当日は午後1時から出品ブドウの展示と生産者による直売を実施しました。会場には開始から来場者が長蛇の列を作り、ブドウの直売と試食を楽しみました。来場者は品種ごとに違うブドウの味や食感を楽しみながら、地元のブドウのおいしさを味わいました。

展示品からは金賞6点、銀賞8点、銅賞12点が選ばれ、その中から最高賞の市長賞など計九つの副賞が選ばれました。

JAみどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は変更になることがあります。

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時　間
食農科学で技術バトル！？／ＪＡ群馬中央会	11月９日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※11月15日(日)	AM 8:00～ 8:30
意外と知らない？ＪＡバンク群馬！／ＪＡバンク群馬	11月16日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※11月22日(日)	AM 8:00～ 8:30
東日本調理師専門学校イベント協賛／ＪＡたかさき	11月23日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※11月29日(日)	AM 8:00～ 8:30
やまといも／JAにったみどり	11月30日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※12月６日(日)	AM 8:00～ 8:30

ポチッとぐんテレ 3ch 放映のお知らせ



◀加賀爪 聡アナ



小林 優アナ▶

Art Cooking

玉こんにゃくと根菜のクミン風味土佐煮

Aセットの「生芋玉こんにゃく」で料理しました！ 詳しくは5ページ



材　料

2人分　（1人分124kcal）

- 生芋玉こんにゃく‥165g
- れんこん……50g
- ごぼう……50g
- 花かつお……7g
- だし汁……250cc
- サラダ油……小さじ1
- 醤油……大さじ2
- 酒……大さじ1
- みりん……大さじ1
- 砂糖……小さじ1/2
- クミンシード……小さじ1



作り方

1. 玉こんにゃくは半分に切り、下ゆでしてアクを抜く。
2. れんこん、ごぼうは皮をむき、乱切りにする。（れんこんは縦に4等分してから乱切りにする。）
3. 鍋にサラダ油を熱し、玉こんにゃく、れんこん、ごぼうを加えて炒める。だし汁と調味料（しょうゆ、酒、みりん、砂糖）を加え、中火で煮含める。火を止める直前に花かつおとクミンシードを加え、全体に絡める。



Food adviser **石垣 恵美**

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

花木流通センター便り

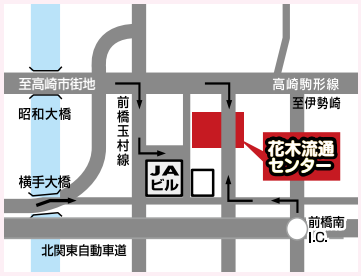
今月の販売案内

- 玉ねぎ苗（スパート・ソニック・ターボ・赤玉サラダ・ケル玉）
- 早春やさい苗（スナックエンドウ・キヌサヤ・カキ菜・春菊など）
- パンジー・ビオラのケース販売

KABOKU
花木流通センター

新鮮ぐんま みのり館

	営業時間	定休日
花木流通センター	4・5月：9:00~17:00 6~3月：9:00~16:00	4月・5月：無休営業 6月~3月：毎週火曜日定休
みのり館	4~3月：9:00~17:00	年末年始を除いて無休営業
横名十文字うどん	4~3月：11:00~14:30	



住所・お問合せ
前橋市亀里町1307-1
TEL 027-220-2427
FAX 027-220-2424



『県本部通信』における個人情報の取扱いについて
『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。
《あて先》〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番　JA全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail：info-gunma@gm.zennoh.or.jp

□発行／令和8年11月1日発行　□発行人／遠藤　政裕　□ホームページアドレス／https://www.zennoh.or.jp/gm/　□E-mail／info-gunma@gm.zennoh.or.jp
□発行所／全国農業協同組合連合会群馬県本部　管理部企画管理課　〒379-2147 前橋市亀里町1310番地　TEL027-220-2223　Fax027-220-2229
R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOYINK この印刷物は大豆インキを使用して制作しています。